

クスノハカエデ

Acer oblongum Wall. subsp. *itoanum* (Hayata) Hatsushima

Order Sapindales, Family Sapindaceae, Subfamily Hippocastanoideae

日本で唯一常緑のカエデ。15mにもなる木で沖縄に産するが、今やレッドデータリスト植物。冬-5℃になる土地で、年中日陰でも冬を越す強い植物。地植えにすると成長が早い。鉢植えで室内でもよく育つ。葉は皮質で鋸歯はない。葉裏は粉白色。若木の葉は3裂になる。芽出し直後の葉は赤茶色になる木もある。雌雄同株。花は散房花序で多くの花が咲くが、雄花が多く混じるので、果実は少ない。6月頃、果実の翼が赤く色づくが、一週間ぐらいで後、緑色になる。

Genus *Acer* The essential 1000 genera certification C Level

カエデ属：イロハモミジ、イタヤカエデ



Chiba University Graduate School of
Horticulture 2025-01-30
Name ID: 10050